

あの男は、大蛇だいじゃの生まれ変わ  
りだったのだ。

母親は、蛇へびの子を腹はらんでは大変たいへん  
と菖蒲しょうぶとヨモギを束たばねて風呂に  
浮かべて娘を入れたんだ。

それからというものの一年にいつ  
ぺんは、菖蒲湯しょうぶゆに入れるものと  
言い伝えられてるそうだ。

